

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	味覚センサーを活用したシードル味わいマップの作成
事業主体 (連絡先)	南信州シードル協議会
事業区分	(1)地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	464,000 円 (うち支援金: 364,000 円)

事業内容

- (1)南信州・飯田産業センター食品系試験室にある味覚センサーを用いて南信州地域シードル38本の分析を行った。
- (2)分析結果を基に、味わいがわかるマップを作成した。
- (3)ソムリエを講師に招き、味覚センサーで分析したシードルと、実際にテイスティングしての味わいの関係性についてオンラインセミナーを開催した。(15事業者33名参加)



【オンラインセミナーの様子】
【目標・ねらい】

事業効果

- ①多種多様なシードルを、一目でどんな味わいか分かるマップが完成したことで、消費者は自分の好みのシードルを探しやすくなり、生産者は自分のシードルの味わいを把握できた。また、視覚化できたことで酒販店・飲食店においては、より分かりやすい商品説明が可能となった。
- ②オンラインセミナーを開催したことで、分析結果をそのまま伝えるのではなく、分析結果と実際の味わいについて、より消費者に伝わりやすい言葉や表現を学ぶことができた。
- ③分析したことで、醸造家が把握していなかった情報もわかるようになった。醸造家によって大きく味わいが異なる項目もあり、醸造方法など情報交換を行うことで、今後の醸造に生かしていくことができる。
また、南信州地域のシードルの平均や自社商品のポジショニングを知ることができ、今後さらに特徴的なシードル、差別化されたシードルの誕生に繋げていくことができる。

- ①南信州地域シードルの味わいの視覚化
 - ・マップ作成
- ②ソムリエによる表現方法セミナー
 - ・消費者に伝わる言葉で説明・表現できるようにする
- ③醸造技術の向上
 - ・分析結果を基に、今後の醸造に生かしていく

※自己評価【 B 】

【理由】

当初イメージしていた通りのマップが完成した。セミナーがオンライン開催になったことで、参加者にも試飲してもらいながらの意見交換等ができなくて残念であったが、表現方法や販売方法も含めて活発なセミナーを開催できた。

今後の取り組み

会員は自社商品の味わいを把握することができ、またセミナーで学んだ表現方法を活用して今後の販売につなげていきます。醸造家同士または醸造家と委託醸造依頼者で意見交換等を行うことで、委託者は希望する味わいをわかりやすく醸造家に伝えることができるようになり、醸造家の技術向上や味わいの向上に繋がっていきます。

また、酒販店・飲食店にマップを配布し、取り扱っているシードルの味わいを把握してもらい、消費者に対してよりわかりやすく説明してもらうことにより、愛飲者獲得の一助としていきます。